



初任教育 第六十四期入校式

秋田県消防学校の初任教育第六十四期入校式が四月九日(金)行われ、県内一三消防本部から八五人が入校した。齊藤英晴学校長は「消防の任務は安全を確保すること、県民の生命と財産を守ることに尽きる。入校期間中、消防人としての心構えを体得し、消防人として必要な知識・技能を習得し、県民に信頼される消防人としての基礎を築いてもらいたい」と式辞を述べた。

中泉松之助秋田県消防協会長は祝辞で「今、消防本部では大量退職期・大量採用期を迎えている。皆さんは、五〇六年後には中核職員として活躍しなければならぬ。そのためには、消防防災に関する基礎的な知識・技術を習得することは無論のこと、消防人としての倫理観、社会人として教養を身につけることが何より大事」と激励した。

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部の野口翔消防士は入校生を代表し「入校の意義と消防の責務を自覚し、消防職員として地域住民の信頼に値する人格の陶冶に努める」と宣誓した。

今年も女性消防士が二人入校し、これまでの女性入校者数は三年連続で合わせて一人となった。入校生は九月

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉 松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760



【入校生名簿】
秋田市消防本部
工藤 健正
藤澤 昌幸
飯塚 広大
泉谷 仁紀
鎌田 知幸
大館市消防本部
石田 伸一
加賀谷陽太
笹川 隆司
山本 朋
北秋田市消防本部
櫻田 優平
木村 亮太
由利本荘市消防本部
渡邊 慎也
佐藤 大輝
鈴木 駿
大滝 詠一
高橋健太郎
にかほ市消防本部
梶原 敬太

祝辞を述べる中泉協会長
一七日までの約半年間、寮での共同生活を送りながら消防法などの関連法令を学ぶほか、警防・救助・救急等の基礎技術の訓練に取り組み。

平成二十二年全国統一防火標語
「消したかな」
あなたを守る
合言葉

加藤 高幸
高堰 由佳
原田 悠平
門間 順輝
沢田 巨
新川 健太
篠村 武志
藤嶋 昇栄
明石 知也
眞坂 宰
佐藤 栞
鈴木 陽
佐々木智樹
本多 完
森 勝哉

櫻井 繁貴
池田 恭介
伊藤 勝也
願法 遼平
千田 康博
高橋 伴幸
佐々木 康也
山田 康介
小田嶋理嗣
佐藤 直也
横井 周治
加川 一星
五城目町消防本部
越前 朋哉
鹿角広域行政組合消防本部
木村 貴大
阿部 伸哉
能代山本広域市町村圏組合消防本部
村岡 亮太
田村 一樹
石井 将吾
藤田 翔太
富山 達也
石岡 順平
寺沢 大祐
菅原 智樹
秋山 剛
北林 敬也
菅原 俊
男鹿地区消防一部事務組合消防本部
菅原 佑太
柏崎 晃平
佐藤 貴博
秋山 克也
齊藤 史泰
天野 駿
櫻庭 竜太
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
高橋 潤
倉橋 大地
今野 豪
中谷 壮志
平岡 健太
高橋 慎也
谷口 慎哉
佐藤 承
愛甲 巧也
佐藤 明士
倉橋 重吾
大澤祐太郎
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
野口 翔
土田 健人
村上 将栄
草野 武範
富山 和将

平成二十二年春の叙勲・褒章 第十四回危険業務従事者叙勲

消防功勞による叙勲及び褒章の受章者が発表され、本県関係では春の叙勲二四名、危険業務従事者叙勲九名、春の褒章一名の計三四名の方々が、栄えある受章に輝いた。

平成二十二年春の叙勲

● 瑞宝小綬章

元秋田市消防本部
消防正監 高橋 弘

● 瑞宝双光章

元仙北町消防団

團長 小松 慧治郎

元由利本荘市消防団

團長 佐々木 量一

元由利本荘市消防団

團長 前川 侓

● 瑞宝单光章

元八竜町消防団

團長 杉沢 國一

元横手市横手消防団

團長 太田 悦郎

元八森町消防団

團長 岡 与四郎

元秋田市消防団

副團長 佐々木 一二

元角館町消防団

副團長 菅 原 與太郎

元能代市連合消防団能代消防団

副團長 幸坂 正

元雄勝町消防団

副團長 鈴木 實

元雄物川町消防団

副團長 佐藤 榮吉

元鹿角市消防団

副團長 伊藤 勇

元美郷町消防団

副團長 佐藤 劍一

元大館市消防団

副團長 島澤 工

元能代市消防団

分團長 小笠原 吉義

元西仙北町消防団

分團長 佐藤 健藏

元河辺町消防団

分團長 熊谷 善一

元本荘市消防団

分團長 小松 優一

元阿仁町消防団

分團長 武田 豊司

元大曲市消防団

分團長 高橋 太郎

元大雄村消防団

分團長 鎌田 俊一

元千畑町消防団

分團長 高橋 清

元若美町消防団

分團長 吉田 昭一

第十四回危険業務従事者叙勲

● 瑞宝双光章

元大館周辺広域市町村圏組合消防本部

消防監 奥村 秀夫

元秋田市消防本部

消防監 佐藤 邦廣

元横手平鹿広域市町村圏組合消防本部

消防監 高橋 茂喜

元能代地区消防一部事務組合消防本部

消防監 袴田 司

元秋田市消防本部

消防司令長 杉 館 二郎

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部

消防司令長 佐々木 巖

● 瑞宝单光章

元本荘地区消防事務組合消防本部

消防司令長 熊田 次雄

元五城目町消防本部

消防司令長 一 関 實

元湖東地区行政一部事務組合消防本部

消防司令 伊藤 武雄

平成二十二年春の褒章

● 藍綬褒章

現八郎瀨町消防団

團長 三戸 留吉

新消防長紹介



秋田市消防本部
さとう けんじ
佐藤 賢治



大館市消防本部
いししい なおひこ
石井 直文



由利本荘市消防本部
つちだ けいいちろう
土田 喜一郎



にかほ市消防本部
おりい かずお
下居 和夫



鹿角広域
行政組合消防本部
なら としゆき
奈良 俊幸



男鹿地区消防一部
事務組合消防本部
かが けんまさ
加賀 邦正

新消防団長紹介



上小阿仁村消防団
きたばやし よしたか
北林 義高



藤里町消防団
こやま つとむ
小山 初美



仙北市消防団
たかやま とらえつ
高山 藤悦



横手市雄物川消防団
さとう けんじ
佐藤 庫之助



横手市十文字消防団
わいすみ よしみ
和泉 芳美



横手市山内消防団
たかかい けんたろう
高階 健太郎

第三六回消防団幹部 特別研修に参加して



横手市大雄消防団長
佐々木 一 義

一月一九日より二二日まで四日間、日本消防会館において開催されたこの研修に参加して参りました。

研修の目的は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し消防行政全般における各種教養を行ない、地域消防団の指導者を養成するもので、全国から団長、副団長四七名が参加しました。

毎日ピシシリの講習は初めての体験で不安もあり、また緊張もしましたが、日本消防の最高幹部である河野消防防長官、日本消防協会の片山会長、秋元理事長と御挨拶出来た事は大変幸運なことと思いました。

開講式のあとはいよいよ研修ですが、研修は秋元理事長の人物が話の中で想像つく和やかな講話で始まり、一日目、二日目、三日目と続き、疲れもピークに達した頃、さすが協会の作成したプログラム、外への研修が組み立てられました。東京消防庁第二消防方面本部消防救助機動部隊の視察でした。阪神・淡路大震災の教訓から特別に創設された部隊だそう。国家レベルの災害派遣で、国内・海外と多くの出動実績をもつハイパーレスキュー隊の救出、救助訓練を見学することが出来ました。今回の研修で一番むずかしかったのは、いつ起きるか分からない災害の危機管理で、三時間の講義でした。図上訓練は一般的には実動訓練で

すが、今回は阪神・淡路大震災級の震度六強の地震が発生したことを想定して、初期にどう動いたらいいのかなど、自分を地区の最高責任者と仮定して図上訓練のイメージトレーニングをする事の大切さを学びました。このトレーニングはぜひ協会の指導の元、大雄消防団で実施し地域の災害時に備えたいと思います。また、課題研究では、市町村合併及び常備消防広域化に伴う消防団の運営をテーマに選択し、一六名の仲間と団の運営、日常の問題点を出し合い、常備消防とのつながり、平成の大合併後の消防団員の減少など大いに議論し、情報の共有化を図ることが出来ました。最後はやはり、自分達の地域は自分達で守ると言う事に行きついたと思います。私は地元に戻り、消防団員の団結を図ることにより、地域に根ざした消防団、地域に密着した消防団づくりに努めたいと思います。

第九回消防団幹部候補 中央特別研修に参加して



鹿角市消防団 班長 中村 達美

研修では消防団の新たな活動の可能性を学びました。これからは、防災周知の方法や今後の消防団の在り方などを考え、地域住民や若年層から理解と協力が得られるよう活動したいです。

湯上市消防団 団員 永井 英明



全国の方々と話を聞くと、団員確保ほどの地域でも例外なく苦勞しているようである。

そうした中で、団活動に対する熱い思いや様々な取り組みを知ることができ、良い経験となった。

大仙市消防団協和支部 団員 橋本 琢史



全国各地の団員と同じ問題について議論し、様々な意見を聞くことができ、また、交流ができたことは貴重な経験であった。この研修を活かし、今後の消防団活動に役立てていきたい。

秋田市消防団 団員 佐藤みちよ



各県によって、団活動への取り組み方への温度差がありました。皆さんの団活動への意欲は強く、パワーに圧倒されました。「私たちも、何か始めないと」と感じました。

秋田市消防団 団員 鎌田奈緒子



秋田の女性消防団員の良さを再確認し、他県のすごさも感じてきました。研修のお陰で、これから女性消防団員として、もっと成長したいなあと思っています。行って良かったです。

秋田市消防団 団員 能登谷綾子



「女性消防団ここにあり」と全国から活力あふれるメンバーに出会いました。お互い確認したのは、その地域にいかにか密着した消防団活動をしていくかと言うこと。充実した研修でした。

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シパウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
消火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
☎(0183) (42) 2125
〒012-0844 湯沢市田町 ☎(0183) (73) 2588

支部情報アラカルト

春の火災予防週間

総合防災訓練を実施

大仙市仙北市美郷町支部

春の火災予防週間の初日、大仙市消防団大曲支団で地震の発生を想定した訓練が実施されました。毎年、各分団持ち回りで実施しているもので、今回は「消防団と地域の連携」をテーマに花館地区を会場として消防団九〇名、花館地区町内会約一〇〇名、危険物安全協会及びLPガス協会十二名、大曲消防署五〇名が参加して行われました。訓練は初期消火訓練、通報訓練及び避難訓練・救出訓練、トリアージ及び救急搬送訓練、火災防御訓練、炊き出し訓練を実施し消防団による一斉放水で終了しました。訓練終了後、三浦久治柳町町内会長に訓練の感想を伺ったところ、「たいへん、すばらしい訓練でした。特に、消防団の統率が良くとれていてびっくりしました。また、パケツリレーも地域住民の防災意識の高揚に役立ったと思います。今回の訓練のために、地域の多くの方々が自主的に集まってくださったことに感謝すると同時に、訓練をとおして地域の団結がより一層強まったと感じます。」と語ってくれ、自分たちの地域は自分たちで守るとい



方々が自主的に集まってくださったことに感謝すると同時に、訓練をとおして地域の団結がより一層強まったと感じます。」と語ってくれ、自分たちの地域は自分たちで守るとい

う自主防災活動を担う気概を感じました。
〔情報提供〕大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

秋田市 鈴木信子回員がラジオ出演!



秋田市消防団の鈴木信子団員が五月二日(日)に放送された「おはよう! ニッポン全国消防団」で、元プロボクシング世界チャンピオンでタレントの薬師寺保栄さんと電話対談した。

消防団で活動する父の姿を見て入団を決意し、二年前第三期生として入団したこと、昨年出場した第十九回全国女性消防操法大会では思うような結果が得られずくやしかったこと、操法の練習で使うホース巻き道具を父が作ってくれたエピソードや、これからの活動についての抱負を和やかに語った。

事務局からのお知らせ

◆ホームページを開設します◆

秋田県消防協会では、「消防秋田」の紹介や消防イベント、防火・防災に関する各種情報を積極的に開示するため、平成二二年六月一日からホームページを開設します。

より多くの方からアクセスを頂き、消防思想の普及啓発が図られることを期待しています。乞うご期待!

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成22年		平成21年		同期比較		
	4月	累計	年計	4月	累計	4月	累計
建物	15	83	236	23	88	-8	-5
林野	4	4	46	10	12	-6	-8
車輛	4	7	44	3	12	+1	-5
その他	8	18	97	49	55	-41	-37
合計	31	112	423	85	167	-54	-55
死傷者	1	10	36	3	16	-2	-6
負傷者数	5	12	46	6	17	-1	-5

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52)6361
(52)6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651